

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ白根保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：森 香織	定員（利用人数）：60名（利用者60名）
所在地：〒241-0005 横浜市旭区白根5丁目13-1	
TEL：045-952-0005	
ホームページ：http://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_048.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 9名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士
	施設長 調理師
	主任保育士 看護師
施設・設備の概要	（居室数）保育室6、事務室1、調理室1、休憩室1
	（設備等）園庭、プール、シャワー、ホール

## ③理念・基本方針

株式会社グローバルキッズの保育の指針

経営理念・・・子どもたちの未来のため

行動指針・・・7つの感謝と7つの行動

保育理念・・・豊かに「生きる力」を育てる

保育目標・・・思いやりのある子ども・自分で考える子ども

元気でたくましい子ども・明るくのびのびとした子ども

保育方針・・・①子どもの安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、

成長と個性に応じた多様性のある保育をする。

②子どもの目線で豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、その主体的な活動を育む。

③こどもを中心に捉え、家族や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関りを大切にする。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

園の保育への取り組みは、子どもを中心とした保育を実施しています。

そして、全職員が子どもの今の姿を理解、共感し、その時の子どもの自主性を尊重しながら成長発達を支援するように努めています。そして、保育士、園の専門職員、保護者、地域共に、保育園に関わる人で子どもを育むチーム保育を実施し、常にPDCAサイクルの中で長期的、発展的に質の高い保育を目指しています。

\*自然豊かな環境の中で、子どもたちが今やりたいこと、子どもたちに今やらせてあげたいことを考えた保育をする。  
 \*子どもたちを囲む人的環境（保護者、地域、職員）が保育園を通して助け合える関係づくりを大切にする。  
 \*子どもたちが世界を広げ自ら選択し決定する経験をふやしていく  
 \*職員同士のコミュニケーションを大切に何事も、みんなで考える意識を持つ。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月8日（契約日） ～ 令和3年2月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（前回：平成 29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの自主性を育む見守る保育を実施しています  
 子どもの自主性・主体性が育まれるように、子ども一人ひとりの個性を大切にして、子どもが認められた、という安心感をもてるように接しています。「しなければならない」という慣習に縛られずに、その時の子どもの欲求を肯定的に受け止めています。食事の時にデザートは、子どものその日の気持ちによって、先に食べる、後に食べると自由に自分で考え選んでいます。その中から自発的に「今日は、ご飯と一緒に食べてみようかな」などと、自分でいろいろと考えたり、新たな発見をすることがあります。職員は、自分の力で考え、判断したり、発見したりするその子どもの可能性を見守って、一人ひとりの個性を大切に、多様な保育に取り組んでいます。

2)地域との交流を広げる取組を積極的にしています  
 地域の中で公益的な事業を営む福祉施設として、地域との交流を積極的に行っています。地域の夏祭りには、職員が会場に設営された模擬店の手伝いに出かけています。園児たちは、ハロウィンには近隣の商店街を回って、お菓子をもらって来ます。また、毎日の散歩の際には、住民が声をかけたりして園児たちを見守っています。地域の「絵本マイスター」のボランティアが定期的に園を訪問して絵本の読み聞かせをしてくれます。読み聞かせの技術は保育士の学びにもなる高度なもので子どもたちは毎回わくわくしながら聞いています。  
 園舎や園庭を未就園児に開放しての育児・栄養相談を行っており、地域団体が定期的開催している「あさひプレイパーク」への協力などもしています。こうした地域との交流の取組は、子どもたちの社会性を育てるためにも大切にされています。

3)保育の専門知識を、保護者に提供して子育ての連携を図っています  
 乳児クラスの廊下には、離乳食の内容をわかりやすく掲示しています。そこには、離乳食の期ごとの形態、そのときの素材の硬さ、大きさ、味付け、食材、子どもの口の動かし方、ポイントが記載されています。  
 食事の時、どのような声かけをすれば、子どもが食事を楽しんだり、興味をもてるか、園で実施している内容を写真や、イラストを使い保護者に向けて提供しています。このように、栄養士、保育士などの専門的な乳児の離乳食について保護者にもわかりやすく説明をして、共に子育てに取り組めるように配慮しています。

◇改善を求められる点

1)園の重要な情報を保護者にわかるような掲示

玄関を入ると、下駄箱の上に様々な園の情報が掲示されています。ただ、その場所に掲示されているものは、保護者の目に止まりづらいようです。

掲示されているにもかかわらず、利用者のアンケートからは「知らない」という回答も多くみられます。園でも、保護者に理解、周知してもらいたいと掲示されているものだと思いますので、できるだけ目につきやすいように紙面や文字を見やすくするなど工夫されることを希望いたします。

2)実習生の積極的な受け入れ

実習生の受け入れマニュアルは整備されていますが、受け入れの事例が少ない状況です。保育に関わる専門職の研修・育成への協力は、保育所の社会的責務の1つとなっています。子ども・保護者そして園の運営状況等の事情もあると思われませんが、実習生の積極的な受け入れの検討が必要です。また、受け入れに当たっては、子ども・保護者への事前説明や実習生の専門職種の特性に配慮したプログラムの用意が求められますので、これらについてもマニュアルの中で定めておくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価では関係者の皆様にご協力いただきありがとうございました。

開園7年目を迎えましたが、社会における保育園のあり方や保育指針の上に作りあげる保育内容などに試行錯誤しておりました。今回の受審で客観的なご意見や視点を変えて考えるアドバイスを沢山いただき、園として取り組む新しい計画に気づくことができました。

日頃の保育には色々な環境が不可欠で、今まで自園で取り組んできていないことも職員全員で積極的に挑戦し、子どもたちが豊かな毎日を過ごせる場所になるよう目指していきます。

保護者の皆様にはアンケートのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をしっかりと受け止め、今後も続けていく取り組みやお気持ちに添える努力をし前進して行きたいと思えます。

ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり